

優秀賞

自分の命を大切に

学校法人飯塚学園 飯塚日新館小学校 3年 松本 花梨

わたしは、左右を見て道路をわたっています。なぜなら、安全だからです。しかし、さい近、ニュースでは、歩行者が車にひかれる事を見ることがあり、かなしくなります。では、どうしたら、みんな安全にすごせるでしょうか。

まず、道路をわたる時、左右をかくにんしてわたりましょう。かくにんせずに道路をわたってしまうと、自動車にひかれてしまうかのうせいはとても高くなり、とてもきげんです。

また、信号のある横だん歩道であっても、自動車が信号をむしし、つつこんでくるかもしれません。だから、どんな場所であっても、道路をわたる時は、ゆだんせずに、左右を見て安全にわたるとよいと思います。

次に、道路にいて車している車のそばを通る時、ゆだんしないようにしましょう。とくに、乗り物が好きな小さい子は、トラックやバイクなどにきょうみをひかれ乗り物があつたら、ついつい近付きたくなるかもしれません。しかし、乗り物からきよりをとって歩き、近付くのはさけるとよいと思います。なぜなら、運転手が歩行者に気づかず、急に発進し、ひかれてしまうかのうせいがあるからです。とくにトラックなどの大きな車には、子どもの小さな体は見えづらく、死角に入ってしまいます。そのため、歩行者に気づかず発進し、ぶつかってしまったたり、車体にまきこまれたり、引きずられてしまうかもしれないのです。だからこそ、道にいて車している乗り物のそばを通る時にもゆだんせずに通るようにするとよいでしょう。

このように、乗り物のそばを通ったり、道をわたる時には、ゆだんせずに行動しましょう。そして、一人一人が気をつけ、安心安全な世の中にしてほしいと思います。